学校教育目標

「夢大きく，心豊かな児童の育成～知・徳・体！キラリと光る三つ巴っ子～」

ごあいさつ

三原市立本郷小学校は，明治8年（1875年）高山城の麓，圓光寺に開設され，来年で150周年を迎えます。また，小早川氏の家紋「左三つ巴」を校章に戴くなど，歴史と伝統のある学校です。

この歴史と伝統を誇りに，353名の児童が，それぞれの夢の実現に向けて，のびのびと成長できる学校を目指して，本年度，学校教育目標を，「夢大きく，心豊かな児童の育成～知・徳・体！キラリと光る三つ巴っ子～」としています。

本校では児童も教職員も，「『三つ巴の魂』を大きく育てよう」を合言葉に，日々がんばっています。この『三つ巴の魂』とは，「かしこくなる魂」「やさしくなる魂」「たくましくなる魂」の三つをいい，具体的には次のような取組を進めています。

〇「かしこくなる魂」を育てるために

本校では，研究主題を「だれもが学ぶ喜びと自信がもてる，主体的・対話的な学びの創造～『なぜ』を追究する授業をめざして～」とし，児童が主体的に学び合い，学ぶ楽しさや喜びを実感できる授業を目指して，授業改善に取り組んでいます。

〇「やさしくなる魂」を育てるために

ふるさと学習を通して，地域の，「人」「もの」「こと」の良さを実感し，地域に誇りをもつことができる児童を育てています。また，自他を尊重する心や，身近な人への「感謝」の気持ちをもつことも，大切にしています。

〇「たくましくなる魂」を育てるために

三原市の金のルールでも示されているように，「『早寝』「早起き」「朝ごはん」」の基本的生活習慣の定着を図っています。また，基礎的な体力の向上を目指し，年間を通して鉄棒・縄跳びに継続して取り組んでいます。

本年度も，地域の宝である子どもたちの，成長のために，全教職員一丸となって，教育活動に邁進していきます。

保護者の皆様，地域の皆様，今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう，よろしくお願い申し上げます。

三原市立本郷小学校長　永井　美智子